



### 日本十進分類

0類 総記	1類 哲学	2類 歴史	3類 社会科学	4類 自然科学
5類 技術,工学	6類 産業	7類 芸術,美術	8類 言語	9類 文学

中高生の皆さん。遅れましたが、入学・進級おめでとうございます！GWも終わり、「よし、またがんばるぞ！」と意気揚々としているのでしょうか。

図書館から離れる年代が、みなさんのティーンズ(中高生)と言われています。けれども、成長著しい今こそ、たくさんの本と出会ってほしい！という思いで、「ティーンズ通信」を発行しています。

今回は、前号に続き、本の分類ごとに紹介しています。HPにもバックナンバーがあるので、ぜひ、読書の世界を楽しんでください。

#### 5類 技術,工学



「5」は技術・工業の本を表している。「502」の技術史の本から1冊おすすめしよう。

『修理 仏像からパイプオルガンまで』  
足立紀尚／著 ポプラ社 Y502

物が壊れたら、新しく買い替える。普通のことだ。でも、もしかしたらそれ、修理できるかも！？  
身近な物から珍しい物まで、職人が丁寧に修理する様子を紹介する。  
修理にはお金がかかるし、新しく買った方が安い場合もある。でも修理をすることで、その物はあなたにとってもっと大切な物になるかも。物との新しい付き合い方を考えてみては？(担当0)

#### 6類 産業



「6」は産業。農業、園芸、林業など、自然に関わる分野の本が多く並んでいる。ここではみんなが大好きなカレーライスのちょっと変わった本を紹介しよう。

『カレーライスを一から作る』  
前田亜紀／著 ポプラ社 Y610

カレーライスを作るのは簡単である。しかし、そのすべてを一から作るとしたら…  
米、肉、野菜、スパイス、塩、食器、これらすべてのものを一からつくるといふ壮大な試みが、ある大学で行われた。講師は、アフリカで誕生した人類がユーラシア大陸を渡ってアメリカ大陸に広がった道を遡行した「グレートジャーニー」で有名な関野吉晴氏。この本を読めば、食材や食器が商品として、店に売られる前の過程を追体験できます。読むと、もう「カレーライスをつくるのは簡単」とはいえなくなるかも？  
(担当1)

#### 7類 芸術,美術



「7」は、美術や音楽、カメラなどの映像やスポーツ・体育と幅広い内容である。学校で言えば、音楽・図工・技術・体育の科目である。おすすめしたい本はたくさんあるけれど、今回はこの2冊！

『君はピカソを知っているか』  
布施英利／著 筑摩書房 Y 723

ピカソと言えば、有名な画家のことだ。でも、ピカソのこと、どれだけ知っていますか？  
西洋美術に革命を起こしたピカソを知るためには、ピカソ以前の西洋美術史も知る必要がある。天才・ピカソの人生と作品を、美術史に絡めて描き出す、ピカソと美術史の画期的な入門書。  
“ピカソは絵で世界のすべてを引き受けよう”とした。  
…これを読んだらきっと、あなたもピカソの絵が見たくなる。  
(担当0)



『人生を変えるアニメ』  
池澤春菜／[ほか]著 河出書房新社／編  
河出書房新社 Y778

様々な業界の著名人が、自身の人生に影響を与えたアニメをエピソードと共に紹介している。  
子どもの頃は、誰もが何気なくアニメを見ていただろう。しかし、この著者たちは、そのアニメの魅力は何かをつかんだのだ。それが、夢を叶える原動力になったり、自身の考え方・生き方の核となったりしたから「今」があると述べている。  
中高生のみなさんは、たくさんアニメに出会う段階。気楽にどうぞ。(担当T)

## 8類 言語



「8」は、言語。「81～」が日本語で、「82～」が中国語…と続く。あたり前に使っている日本語について、また、外国語について学びたい時には、「8」のつくところを探してみよう。

### 『似ていることば』

おかべたかし／文 やまでたかし／写真  
東京書籍 814.5

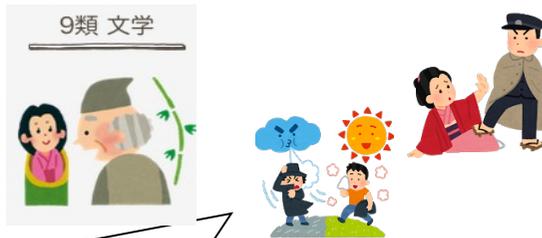
「似ていることは知っているわよ。でもね、何が違うのかは説明できないのよ～」と言い訳したくなるようなそばかりを突いてくる本書。

日本に長く住んでいても、やっぱり難しい日本語。いやいや、奥深からこそおもしろい。

取り上げた「似ていることば」には、大別すると①同音異義語や同訓異義語②形が似ているものの2種である。他にも、「利用と使用の違い」等、何気なく使っている言葉もたくさん。

他にもシリーズ『目でみることば』『目でみる漢字』などもあり。こちらも合わせて、お楽しみください。（担当T）

## 9類 文学



「9」は文学を表している。

川口市の図書館の本の全体の三分の一以上がこの9の分類で一番冊数が多い。しかし、この分類も本当に幅広い。日本、アメリカなどの「場所」、古代、中世などの「時代」、詩歌、小説、ルポタージュなどの「形式」…これらの要素によって本は分類される。広い世界を探検する気分で色々な番号の本を読んでみよう。

### 『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』

神田桂一・菊池良／著 宝島社 913.7

※題名通りカップ焼きそばの作り方が書かれている。

※文豪といっても太宰治からヒカキンと幅広いジャンル・老若男女が揃う。

#### ◆この本の楽しみ方◆

- ①お気に入りの作家がいるのであれば、「〇〇ならこう書きそう！」などと、その作家風のカップ焼きそばの作り方を楽しみ、改めて本物の作品を味わう。
- ②とりあえず読んでみて、「この作家の作風、おもしろい！」と思ったら、その作家の本物の作品を味わってみる。

私が、中高生のみなさんにおすすめするのは、ショートショートで有名な作家・星新一風の「エヌ氏の発明」である。短い文章であっても、星新一（風）の文体とわかるとは、驚きである。（担当T）

### 『父と子の多摩川探検隊 河口から水源へ』

遠藤甲太／著 平凡社 Y915

五十代半ばの父と、十三歳の息子が羽田空港の見える多摩川の河口から、東京を越え、山梨県にある多摩川の水源を目指して、川の流れて歩いて旅をした。詩人である父は、登山の経験が豊富。中学生の息子は、生物部で鳥や植物に詳しい。得意分野も性格も違う二人が多摩川を歩き、お互いが感じたことをそれぞれに綴った旅日記。

地域の歴史を語る、鳥を観察する、時には流れに逆らって川を歩くなど…川にはたくさんの楽しみ方があると感じさせてくれる1冊。川口にも一級河川、荒川があります。この本を読んだら、川口から水源や河口を目指して歩いて旅してみよう。（担当I）

### 『ベルリン 1933』

クラウス・コルドン／作 酒寄進一／訳  
理論社 Y943

1933年のベルリンで何が起きたか、知っているだろうか？この年、ヒトラーが政権を取ったのだ。

不況にあえぐベルリンで、15歳のハンスは平等な社会のために戦う兄を見、一方で貧しさから抜け出すためにナチスに傾いていく人々の姿を見た。次第にハンスも反ナチスの考えを持つようになるが、ヒトラーが政権を取り、街は異様な熱狂に包まれる。ハンスはこの時の熱に浮かされた様な人々の目を、しっかりと見つめた…

戦争へと歩み出してしまった時代を、少年の目を通して描く。

シリーズの『ベルリン 1919』『ベルリン 1945』もぜひ読んで欲しい。（担当O）

## 編集後記

『ベルリン』シリーズを読み始めたら、「本を読んでいることを忘れ」て、午前3時まで読みふけりました。楽しい本ではないけれど、2018年度の私のNo.1の本です。（担当O）

「カレーライス」と「多摩川」…なじみがあるものだと思いますが、手間や時間をかけてとことん深く追求していくこの2冊の本は、読んで新たな発見があると思います。（担当I）

『もし文豪…』『好きこそものの上手なれ』とは言いますが、大人が本気でふざける（称賛の意）と、こんなにもおもしろい作品ができる。ハハハ、と楽しんでほしいです。（担当T）